

ドバッド
ーズに家
本社に招

「愛される会社でありたい」

相互理解を深め 働きやすい環境を

ローズバッドは3月20日、東京・渋谷の本社で初めて「ファミリーデー」を開いた。社員の家族を職場に招待、家族に職場の雰囲気を感じてもらおうと、社員同士の相互理解を深めた。社員のつながりを深め、仕事に対するモチベーションアップや会社へのロイヤルティの向上に生かす。

して午前中に実施。アパレルの仕事を感じてもらえる「シャッペイントとショッパーデコレーション」のワークショップ、スタンプラリーを企画した。スタンプラリーでは子供たちが社員のデスクを回り、久しぶりに顔を見た社員が「大きくなったね！」などと声を掛ける様子があちこちで見られた。生後4カ月の子供を連れて参加した

育休中の社員は、「復帰する前に会社にあいさつに来ようと思っていたので、いい機会になった」と笑顔で話していた。

本社の社員は81人で、うち21%が時短勤務で働く。子育て中の女性社員が多いため、周囲の理解を深め、互いに気持ちよく働ける環境を整えよう企画した。発案は栗田康治社長で、「業務の手を止めて申し訳ないという意見もあったが、家族に職場を見てもらい、社員同士の相互理解を深めることは、それ以上の効果がある。皆が働きやすい環境を作り、家族に愛される会社でありたい」と話

す。
今後は社員の両親ほか大人も参加できる集まりや、野外イベントなども開催する予定だ。



小さな子供が多く、終始に楽しみなムード。仕事とは違う社員の一面が見られ、楽しいコミュニケーションの場。



今後は社員の両親ほか大人も参加できる集まりや、野外イベントなども開催する予定だ。